

令和8年度 第3期 論文式刑法試験問題

受験上の注意事項

- 1 監督者の指示がある前に、この問題を開くことを禁止します。
- 2 試験開始の合図により、解答を始めてください。この試験では、六法を貸与し、その使用を許可します。
- 3 試験開始の合図の後、印刷不鮮明等に気付いた場合は、黙って手を挙げ、監督者に申し出てください。
- 4 解答は、答案用紙に黒インクのペン又はボールペンにより書いてください。
消せるボールペンや時間の経過により字が消えるボールペンは使用しないでください。また、鉛筆は不可です。
- 5 試験時間は60分です。
試験開始後20分以内及び試験終了前5分間は、答案の提出及び試験室からの退出はできません。それ以外の時間に退出（途中退出）する場合には、黙って手を挙げ、自席で答案及び問題を監督者に渡してから退出してください。
- 6 この問題は、試験終了後、持ち帰ることができます。
- 7 次のもの以外は机の上に置かないでください。
受験票、筆記具、時計（計算機能等のないものに限る。）、眼鏡。
受験票は、氏名、受験番号が記載されている面を表にして、監督者が見やすい位置に置いてください。なお、上記以外のものについては、監督者の許可を得てください。
- 8 問題検討のためのラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題用紙に限り認めます。
- 9 携帯電話等は、必ず電源を切って鞆等にしまってください。
- 10 試験室内では、耳栓の使用はできません。
- 11 試験時間中の発病等やむを得ない場合には、黙って手を挙げ、監督者の指示に従ってください。
- 12 試験時間中の喫煙や飲食（ガム等を含む。）は、禁止します。
- 13 試験終了の合図とともに、直ちに筆記具を置き、監督者の指示を待ってください。
- 14 不正の手段によって試験を受け、又は受けようとした者に対しては、試験を停止し、合格の決定を取り消すことがあります。

〔刑 法〕

次の〔事例〕を読んで、後記〔設問〕に答えなさい。

〔事例〕

甲は、A店舗内の棚に展示してあったフィギュア2個を棚から取り、着ていたジャケットのポケットに入れて、代金を支払わずに店外の駐車場に向かったところ、これを見ていた店員Bに追跡された。甲の友人乙は、先に駐車場に行って自分の乗用車の運転席に乗って甲を待っていたが、甲が走ってきて、乙車の後部座席に乗りながら、乙に対し「万引きがばれて追われている。早く逃げたいから急いで発進してくれ。」と告げた。乙は、これを聞いて甲が万引きしたことを知り、車を発進させたところ、追いついたBが、後部座席の開いた窓から上半身を車内に入れて、車にしがみついた状態となった。乙は、Bがしがみついていることを認識したが、Bを振り落とそうとしてそのまま車を走らせ、甲もBの肩を押して車外に突き落とそうとした。Bは、20メートルほど引きずられたところで、甲に押されて車外に突き落とされ、加療7日間を要する傷害を負った。甲及び乙にはBに対する殺意はなかった。

〔設問〕

〔事例〕における甲及び乙の罪責について論じなさい（住居等侵入罪（刑法130条）及び特別法違反の点は除く。）。

